

## 研究開発課題中間評価結果

|           |  |
|-----------|--|
| 事業名（領域名）  | 次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業<br>(RNA 標的創薬技術開発) |
| 公募研究開発課題名 | 核酸医薬品実用化のための製造及び分析基盤技術開発                   |
| 評価研究開発課題名 | 核酸医薬品の製造・精製・分析基盤技術の開発                      |
| 代表機関名     | 国立大学法人大阪大学                                 |
| 研究開発代表者名  | 小比賀 聡                                      |
| 所属・役職     | 大学院薬学研究科・教授                                |
| 全研究開発期間   | 令和3年度開始～令和7年度終了予定                          |

### 【評価結果】

優れている／計画を超えて進捗している

### 【評価コメント】

アカデミアと企業の協力により、核酸医薬品の製造・精製・分析など広範な研究が進展し、国内での核酸医薬品の研究開発への大きな貢献について評価された。多数の参画機関の連携により、世界的に重要な課題である核酸医薬の API 製造や RS の確立などが研究計画に沿って順調に進捗している。高純度合成や毒性評価において画期的な進展があること、および成果がホームページで公開されていることなど、研究代表者3名のリーダーシップとマネジメントが評価された。

内容が多岐にわたることから、成果が発散しないように共通目標と優先順位をより一層明確化することの指摘があった。合成ユニットの結晶化については、実現すれば大きなインパクトをもたらすので、科学技術調査員の制度等も活用し是非とも成し遂げていただきたい。

国際誌への発表を積極的に行い、世界をリードする日本発の CMC 研究、RS の確立につながることを期待される。